

行政区域内人口について、資料表記に四捨五入の誤りがあったため以下のとおり訂正する。  
 第9回淀川部会(資料3-1 P20)も同様に訂正する。

## 需要想定に用いた不確定要素(変動幅)要因一覧

【水道用水】	約14万人						約14万人						約212万人						備考						
変動要因	高位の推計に用いた想定												低位の推計に用いた想定												
行政区域内人口	約1,678万人												約1,604万人												日本の地域別将来推計人口(H30.3) 国立社会保障・人口問題研究所
	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良							
	約15万人	約140万人	約222万人	約845万人	約338万人	約118万人	約13万人	約134万人	約213万人	約808万人	約323万人	約113万人													
高齢化比率	37.7%	28.8%	30.9%	29.7%	31.7%	34.4%	37.5%	28.6%	30.6%	29.5%	31.5%	34.2%													
経済成長率	マクロ経済シナリオ『成長実現ケース』 GNI(国民総所得)年平均成長率:約1.4% GDP(国内総生産)年平均成長率:約1.4%												マクロ経済シナリオ『ベースラインケース』 GNI(国民総所得)年平均成長率:約0.8% GDP(国内総生産)年平均成長率:約0.9%												中長期の経済財政に関する試算 (R3.7.21 経済財政諮問会議提出)
	地域経済傾向ケース(近年の地域経済実績の傾向より時系列傾向分析によって将来推計するケース)																		※経済成長率(成長実現ケース、ベースラインケース)及び地域経済実績の傾向による推計ケースより、高位と低位を想定。 ※水道用水のうち、需要推計に経済成長率を用いる部分の推計に使用。 ※年平均成長率:2018年度から2030年度までの経済成長率を平均。						
	検討期間※における最小値												検討期間※における最大値												※検討期間20年間(1999年度から2018年度)のうち近年10年間(2009年度から2018年度)の最大値及び最小値を採用。
	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良							
有収率	85.4%	88.6%	87.8%	91.4%	92.4%	92.1%	86.7%	89.5%	91.3%	93.6%	93.8%	92.9%	86.7%	89.5%	91.3%	93.6%	93.8%	92.9%							
負荷率	84.9%	82.8%	89.7%	88.0%	88.8%	84.3%	90.6%	88.6%	92.8%	91.1%	93.1%	88.6%	90.6%	88.6%	92.8%	91.1%	93.1%	88.6%							
利用量率	96.1%	95.4%	94.3%	96.4%	98.0%	95.1%	98.0%	96.7%	95.4%	97.2%	98.8%	96.5%	98.0%	96.7%	95.4%	97.2%	98.8%	96.5%							

【工業用水】	高位の推計に用いた想定												低位の推計に用いた想定												備考
変動要因	マクロ経済シナリオ『成長実現ケース』 GDP(国内総生産)年平均成長率:約1.4%												マクロ経済シナリオ『ベースラインケース』 GDP(国内総生産)年平均成長率:約0.9%												
経済成長率	地域経済傾向ケース(近年の地域経済実績の傾向より時系列傾向分析によって将来推計するケース)																		中長期の経済財政に関する試算 (R3.7.21 経済財政諮問会議提出)						
	※経済成長率(成長実現ケース、ベースラインケース)及び地域経済実績の傾向による推計ケースより、高位と低位を想定。 ※工業用水のうち、需要推計に経済成長率を用いる業種の推計に使用。 ※年平均成長率:2018年度から2030年度までの経済成長率を平均。																								
	近年10年間における最小値												近年10年間における最大値												※近年10年間:2009年度から2018年度
	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良							
利用量率	—	93.4%	—	99.3%	98.0%	—	—	98.9%	—	100.0%	98.9%	—	—	98.9%	—	100.0%	98.9%	—							
負荷率	—	68.9%	—	78.3%	67.8%	—	—	82.9%	—	83.4%	76.7%	—	—	82.9%	—	83.4%	76.7%	—							

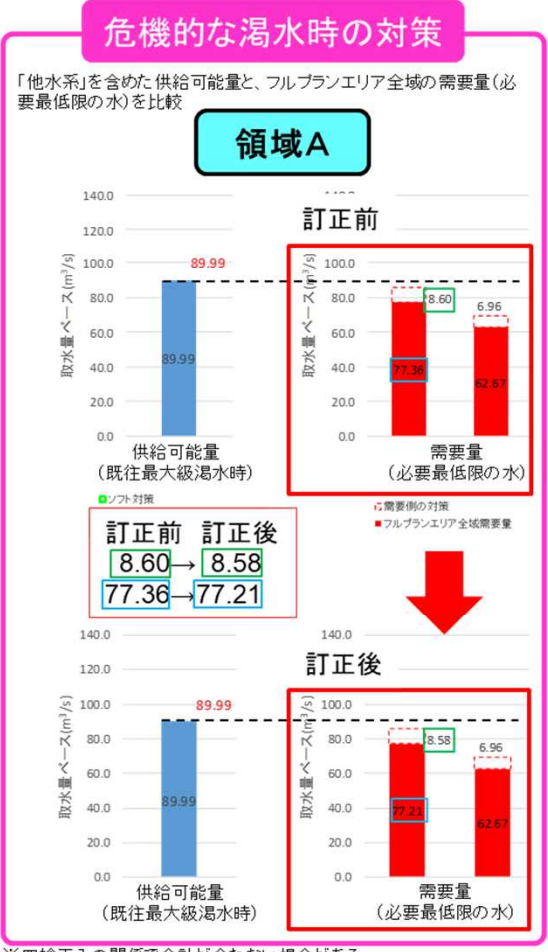
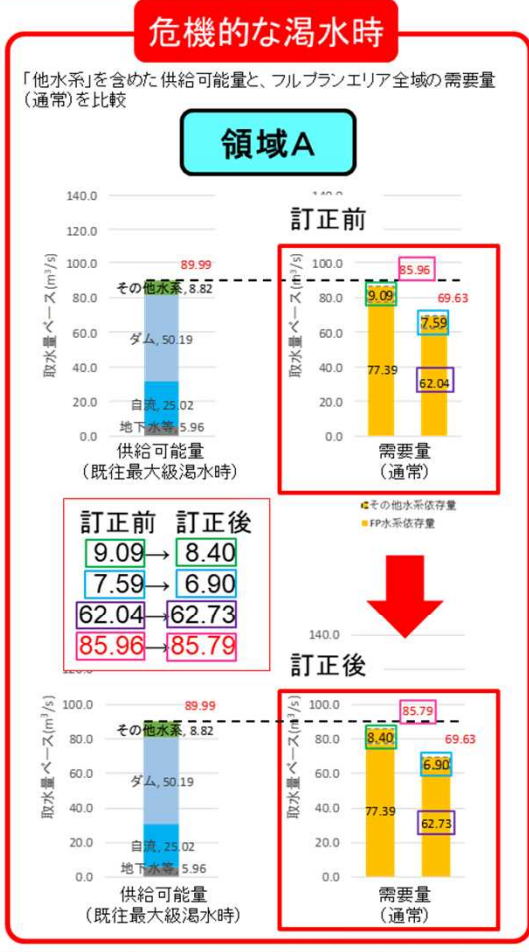
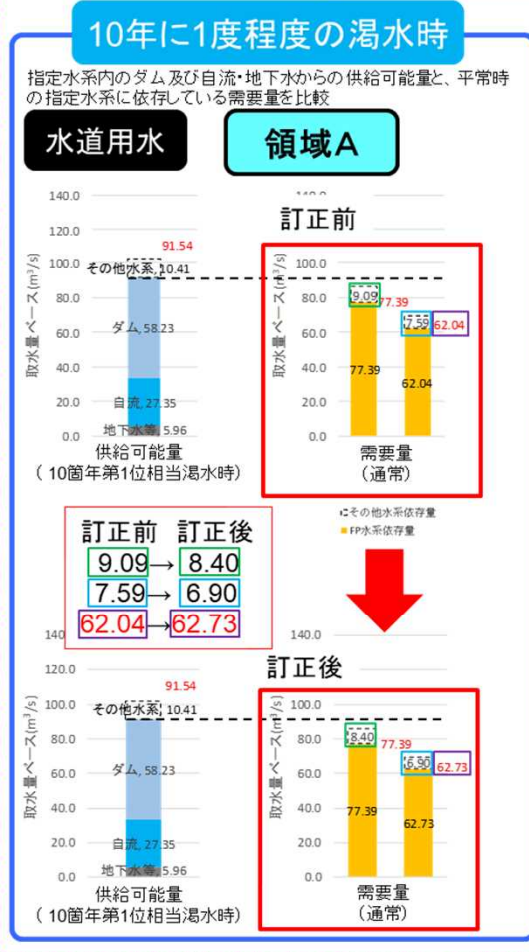
注1. 2030年度における需要の見通しの推計に際して用いた指標は、行政区域内人口、経済成長率、有収率、負荷率、利用量率とした。  
 注2. 社会経済情勢等の不確定要素として人口及び経済成長率を設定し、水供給の過程で生じる漏水等や時期変動として、有収率、負荷率、利用量率を設定した。  
 注3. 行政区域内人口とは淀川水系に水道用水を依存している地域全域の市町村の人口の合計値である。四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

# 第9回淀川部会資料の訂正(資料3-2 P7 6府県合計)

需要量のグラフと表記について、データ参照元に誤りがあったため以下のとおり訂正する。

## 渇水リスクの分析・評価

※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

# 第9回淀川部会資料の訂正(資料3-2 P8 6府県合計)

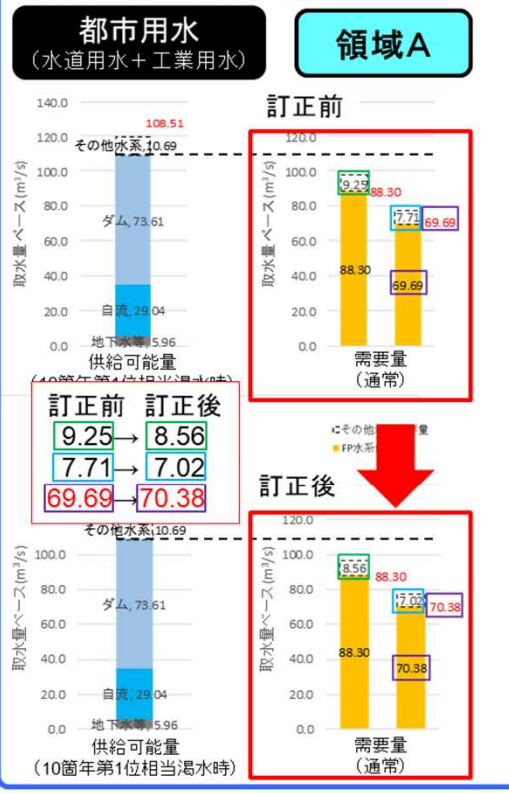
需要量のグラフと表記について、データ参照元に誤りがあったため以下のとおり訂正する。

## 渇水リスクの分析・評価

※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

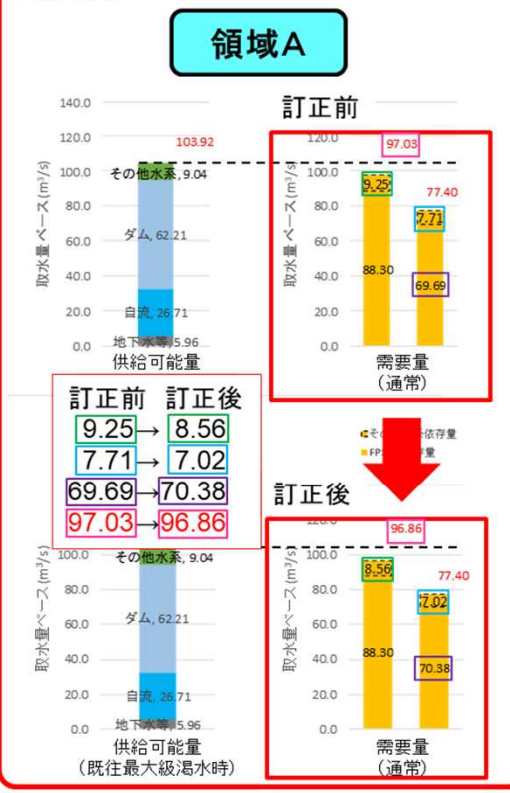
### 10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較



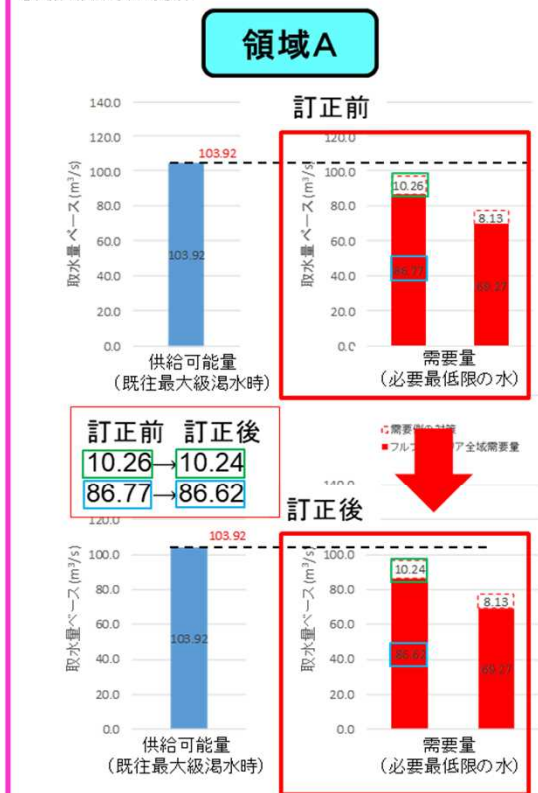
### 危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全体の需要量(通常)を比較



### 危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全体の需要量(必要最低限の水)を比較



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



# 第9回淀川部会資料の訂正 (資料3-2 P26 6府県合計)

京都府及び奈良県の危機的な渇水時  
を平成6年に設定した場合

需要量のグラフと表記について、データ参照元に誤りがあったため以下のとおり訂正する。

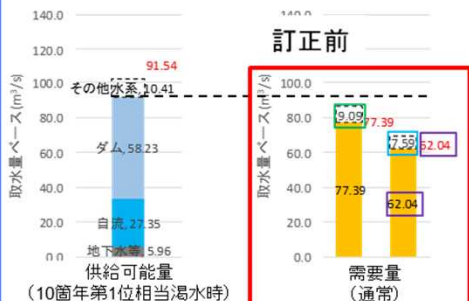
## 渇水リスクの分析・評価

### 10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

#### 水道用水

#### 領域A



項目	訂正前	訂正後
その他水系依存量	9.09	8.40
FP水系依存量	7.59	6.90
合計	62.04	62.73



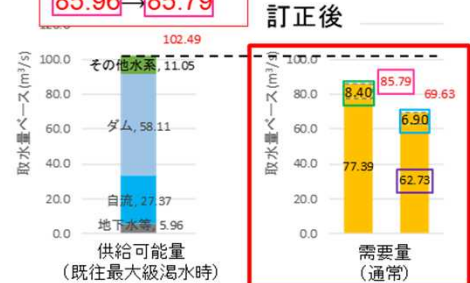
### 危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全体の需要量(通常)を比較

#### 領域A



項目	訂正前	訂正後
その他水系依存量	9.09	8.40
FP水系依存量	7.59	6.90
その他	62.04	62.73
合計	85.96	85.79



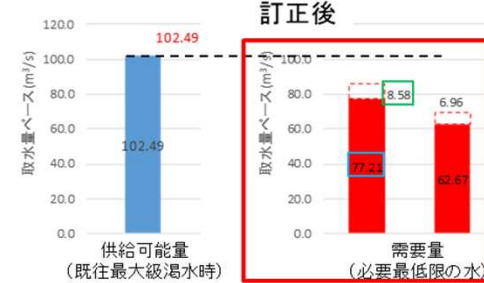
### 危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全体の需要量(必要最低限の水)を比較

#### 領域A



項目	訂正前	訂正後
必要側の対策	8.60	8.58
フルプランエリア全域需要量	77.36	77.21
合計	85.96	85.79



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

# 第9回淀川部会資料の訂正 (資料3-2 P27 6府県合計)

京都府及び奈良県の危機的な渇水時を平成6年に設定した場合

需要量のグラフと表記について、データ参照元に誤りがあったため以下のとおり訂正する。

## 渇水リスクの分析・評価

### 10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

**都市用水**  
(水道用水+工業用水)

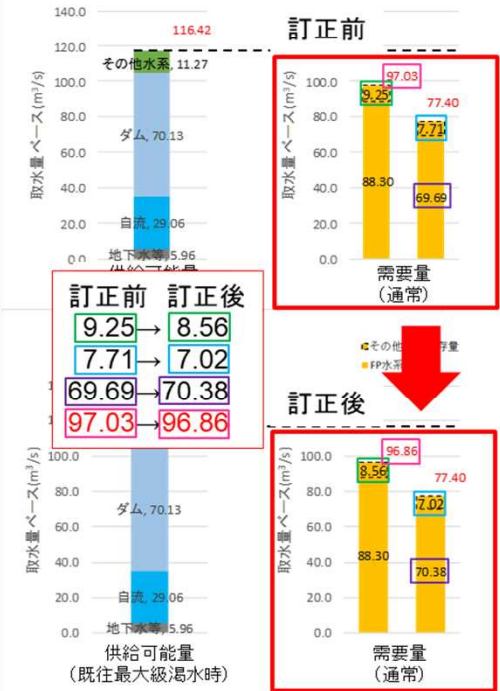
**領域A**



### 危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全体の需要量(通常)を比較

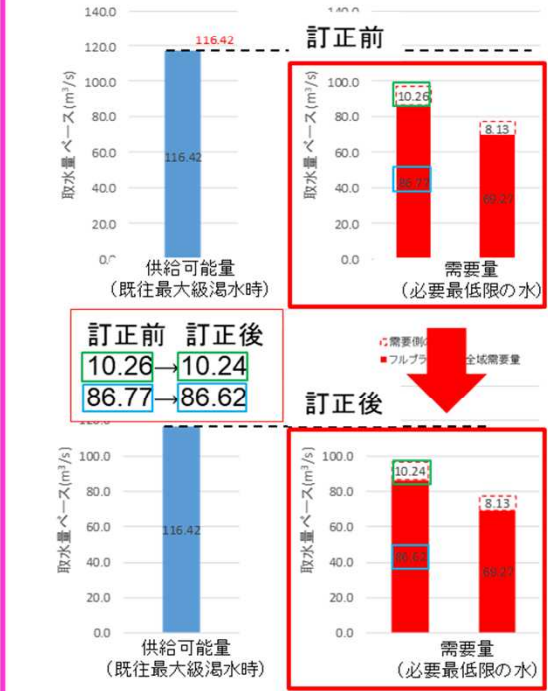
**領域A**



### 危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全体の需要量(必要最低限の水)を比較

**領域A**



※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通して供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

# 第10回淀川部会資料の訂正(資料3-2 P5)

バランス点検図の訂正に合わせ、既往最大級の渇水時における必要最低限の量についても以下のとおり訂正する。  
 第9回淀川部会(資料3-2 P6)も同様に訂正する。

淀川水系における水資源開発基本計画(素案) 説明資料(3)  
 (既往最大級の渇水時において生活・経済活動に重大な影響を生じさせない必要最低限の量と供給側の対策の効果量)

(単位: m<sup>3</sup>/s)

2030年度	用途	水道用水							工業用水							都市用水
		府県名	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	小計	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	小計
需要側の対策 (必要最低限の量) 注1	高位の推計	0.91	6.65	10.10	40.00	14.23	5.33	77.36	-	0.91	-	6.07	2.43	-	9.41	86.77
	低位の推計	0.66	5.52	8.23	32.19	11.83	4.25	69.67	-	0.53	-	4.28	1.79	-	6.60	69.27
供給側の対策 (ソフト対策による効果量) 注2,注3		-	-	-	-	-	-	77.21	-	-	-	-	-	-	-	86.62

注1. 既往最大級の渇水時において確保すべき、生活・経済活動に重大な影響を生じさせない必要最低限の水の量を記載。  
 注2. 既往最大級の渇水時において、必要な水を確保するためのソフト対策のうち、量的に算定が可能な効果量を記載。  
 注3. 既往最大級の渇水時において、必要な水を確保するためのソフト対策の量的に算定が可能な効果量は、一定の前提条件下での算定である。  
 注4. 四捨五入の関係で合計があわない場合がある。

# 第9回淀川部会資料の修正(参考3 P49)

明石市は、2030年までに阪神水道企業団から、1日最大2万m<sup>3</sup>(0.23m<sup>3</sup>/s)を受水することとしたことから、「国による需要想定値(⑩一日最大取水量)」の指定水系分、他水系分に加減し反映していた。  
 兵庫県からの報告を受け、指定水系分、他水系分を加減を「地域の個別施策」へと変更。

修正前 表14 需要想定値(兵庫県)

項目	単位/年度	2018(H30) (実績)	2030推計	
			高位	低位
① 行政区域内人口	千人	3,460,018	3,378,745	3,230,552
② 上水道普及率	%	99.9	99.9	99.9
③ 上水道給水人口	千人	3,456,658	3,375,366	3,227,322
④ 家庭用水有収水量原単位	L/人・日	235.9	235.7	235.0
⑤ 家庭用水有収水量	千m <sup>3</sup> /日	815.4	795.6	758.4
⑥ 都市活動用水有収水量	千m <sup>3</sup> /日	170.0	241.7	170.2
⑦ 工場用水有収水量	千m <sup>3</sup> /日	49.0	60.9	50.3
⑧ 一日平均有収水量	千m <sup>3</sup> /日	1,035.5	1,098.2	978.9
⑨ 有収率	%	93.8	92.4	93.8
⑩ 一日平均給水量	千m <sup>3</sup> /日	1,103.8	1,188.5	1,043.6
⑪ 一人一日平均給水量	L/人・日	319.3	352.1	323.4
⑫ 負荷率	%	90.5	88.8	93.1
⑬ 一日最大給水量	千m <sup>3</sup> /日	1,219.0	1,338.4	1,120.9
⑭ 利用率	%	98.6	98.0	98.8
⑮ 一日平均取水量	m <sup>3</sup> /s	12.96	14.04	12.23
⑯ 一日最大取水量	m <sup>3</sup> /s	15.54	15.81	13.14
I 指定水系分	m <sup>3</sup> /s	12.85	12.94	10.79
II 他水系分	m <sup>3</sup> /s	2.69	2.87	2.35

項目	単位/年度	2018(H30) (実績)	2030推計	
			高位	低位
A 一日最大取水量(指定水系分)	m <sup>3</sup> /s	0		
一日最大取水量(他水系分)	m <sup>3</sup> /s	-		

指定水系 : +0.23  
 他水系 : -0.23

項目	単位/年度	2018(H30) (実績)	2030推計	
			高位	低位
① 一日最大取水量	m <sup>3</sup> /s	15.55	15.81	13.14
i 指定水系分	m <sup>3</sup> /s	12.86	12.94	10.79
ii 他水系分	m <sup>3</sup> /s	2.69	2.87	2.35

項目	単位/年度	2018(H30) (実績)	2030推計	
			高位	低位
① 一日最大取水量	m <sup>3</sup> /s	-	0.00	0.00
i 指定水系分	m <sup>3</sup> /s	-	-0.69	-0.69
ii 他水系分	m <sup>3</sup> /s	-	0.69	0.69

項目	単位/年度	2018(H30) (実績)	2030推計	
			高位	低位
① 一日最大取水量	m <sup>3</sup> /s	15.55	15.81	13.14
i 指定水系分	m <sup>3</sup> /s	12.86	12.25	10.10
ii 他水系分	m <sup>3</sup> /s	2.69	3.56	3.04

修正後 表14 需要想定値(兵庫県)

項目	単位/年度	2018(H30) (実績)	2030推計	
			高位	低位
① 行政区域内人口	千人	3,460,018	3,378,745	3,230,552
② 上水道普及率	%	99.9	99.9	99.9
③ 上水道給水人口	千人	3,456,658	3,375,366	3,227,322
④ 家庭用水有収水量原単位	L/人・日	235.9	235.7	235.0
⑤ 家庭用水有収水量	千m <sup>3</sup> /日	815.4	795.6	758.4
⑥ 都市活動用水有収水量	千m <sup>3</sup> /日	170.0	241.7	170.2
⑦ 工場用水有収水量	千m <sup>3</sup> /日	49.0	60.9	50.3
⑧ 一日平均有収水量	千m <sup>3</sup> /日	1,035.5	1,098.2	978.9
⑨ 有収率	%	93.8	92.4	93.8
⑩ 一日平均給水量	千m <sup>3</sup> /日	1,103.8	1,188.5	1,043.6
⑪ 一人一日平均給水量	L/人・日	319.3	352.1	323.4
⑫ 負荷率	%	90.5	88.8	93.1
⑬ 一日最大給水量	千m <sup>3</sup> /日	1,219.0	1,338.4	1,120.9
⑭ 利用率	%	98.6	98.0	98.8
⑮ 一日平均取水量	m <sup>3</sup> /s	12.96	14.04	12.23
⑯ 一日最大取水量	m <sup>3</sup> /s	15.54	15.81	13.14
I 指定水系分	m <sup>3</sup> /s	12.85	12.71	10.56
II 他水系分	m <sup>3</sup> /s	2.69	3.10	2.58

項目	単位/年度	2018(H30) (実績)	2030推計	
			高位	低位
A 一日最大取水量(指定水系分)	m <sup>3</sup> /s	0		
一日最大取水量(他水系分)	m <sup>3</sup> /s	-		

高位 12.94→12.71  
 低位 10.79→10.56  
 2.87→3.10  
 2.35→2.58

項目	単位/年度	2018(H30) (実績)	2030推計	
			高位	低位
① 一日最大取水量	m <sup>3</sup> /s	15.55	15.81	13.14
i 指定水系分	m <sup>3</sup> /s	12.86	12.71	10.56
ii 他水系分	m <sup>3</sup> /s	2.69	3.10	2.58

項目	単位/年度	2018(H30) (実績)	2030推計	
			高位	低位
① 一日最大取水量	m <sup>3</sup> /s	-	0.00	0.00
i 指定水系分	m <sup>3</sup> /s	-	-0.46	-0.46
ii 他水系分	m <sup>3</sup> /s	-	0.46	0.46

項目	単位/年度	2018(H30) (実績)	2030推計	
			高位	低位
① 一日最大取水量	m <sup>3</sup> /s	15.55	15.81	13.14
i 指定水系分	m <sup>3</sup> /s	12.86	12.25	10.10
ii 他水系分	m <sup>3</sup> /s	2.69	3.56	3.04

指定水系 : +0.23  
 他水系 : -0.23